

「日本女性会議2025 橿原」第4回実行委員会報告

1 開催日時 令和6年5月31日（金） 午前10時~12時

2 場所 大和信用金庫八木支店3階会議室

3 出席委員 21名

4 欠席委員 5名

5 事務局 7名（橿原市企画戦略部、人権政策課）

6 各部会進捗報告

各部会の進捗について、事務局より一括して報告した。（資料1）

（1）総務部会：部会開催なし、協賛金2件受付報告

（2）企画部会：4月16日第4回開催

1「プレ大会の企画運営」、2「プレ大会の概要」、3「分科会等」、4「全体会における特別講演記念シンポジウム等」等について協議、説明を行い、了承を得た。

（3）広報部会：3月26日第4回開催

大会のPR方法スケジュール等について委員の意見を抽出し協議、説明を行い、了承を得た。

4月26日第5回開催

大会HPと制作スケジュール、全体構成等について協議、説明を行い、了承を得た。

7 議事の経過と議決

（1）議案第1号 2023（令和5）年度収支決算について（資料2）

【議決の結果】：承認

【経過】：

（事務局）

収支は資料のとおり。

橿原市補助金500,000円分については市財政当局と協議の結果、支出分を除いた残額165,620円を市に対し返還。

補助金返還後の予算残額1,488,398円が次年度繰り越し分。

(監事)

監査の結果、適正な処理として報告。

(実行委員長)

未使用の予算が返還されたのか、また、残額が出たのは節制の結果か。

(事務局)

お見込みの通り。支出予定が不明確であったため返還金が生じたが、前回実行委員会で承認済みの今年度の補助金は有効に、かつ過不足ない支出を目指す。

(実行委員長)

ロゴマーク報酬の5万円は、一般的な相場と比べ少額ではないか？

(事務局)

一般に広く募集をかけるため。また、過去大会での額を参考に算定し、募集時に告知した。

(2) 議案第2号 2024(令和6)年度プレ大会について(資料3)

【議決の結果】：承認

【経過】：

(事務局)

概要は資料のとおり。現在、野々村さんの所属事務所とは契約済。登壇者選定等は調整中。

(実行委員長)

全体としての開催は万葉ホールのみか。またP2「こども限定プレイパーク」はすべてのイベントを一つの部屋で行うのか。

(事務局)

お見込みのとおり。

(委員)

こども限定プレイパークの定員30名とは、内容ABCDごとに定員があるのか？
またそれぞれどのようなスケジュール、時間配分になるのか。

(事務局)

定員とはプレイパーク全体でのもの。また、それぞれ開催するのではなく、A、Bのイベントを全員参加で通して行い、C、Dの託児担当がそれに参加しない子供や、全体のフォローをするイメージ。

(委員)

各内容の担当者には、事前に流れ、動き方の方針等を確認済。

(委員)

託児は、プレ大会開催中通して可能なのか。

(事務局)

原則、野々村さんトークショーの開催時間前後のみ。それ以外は子供連れでの参加も可能。託児については担当者から最大二時間と示されている。

(委員)

その他イベントでも託児の需要はある。託児が不可能ならば、子供と一緒にイベントを視聴できる別室等を用意しても良いのでは。

(事務局)

別室について設備上は可能。託児の延長も含め、今後の検討課題とする。

(委員)

事前申込等については今後 HP 等で公開されるのか。また、プレ大会参加者については、檀原市民及び関係者のみか？

(事務局)

今後公開予定の HP にて案内。また、市内外に関わらず幅広く参加可能。

(委員)

「パネル展示」について、大阪万博に関してだけでなく、檀原市として目指す世界遺産登録についても掲示してほしい。

(事務局)

世界遺産についても掲示予定。また、今後リリースされる HP やチラシにて、今行った説明内容をわかりやすく案内する。

(3) 議案第 3 号 2025 (令和 7) 年度本大会の概要について (資料 4、5)

【議決の結果】：承認

【経過】：

(事務局)

本大会 1 日目、分科会テーマ等については資料 4 のとおり。今後記載の参画団体が、関係機関等に参加を募り、より有意義な分科会開催を作り上げてもらえるようお願いする。

また要審議案件として、「未来へ繋げる特別枠」に「檀原市の魅力発信」と題し、市内中高生が参画し、檀原の未来について考えるイベントの開催を提案。

続く 2 日目、全体会については資料 5 のとおり。

女性アスリートの活躍をテーマとしたシンポジウムや、特別講演会として著名なタレントのご登壇を企画、依頼中。

(実行委員長)

全国からの参加者にわかりやすく、現在の日本の課題が反映された内容が望ましい。また、大会を作るプロセスも重要。多くの団体へ参画を呼びかけ、多様な意見を取りこんで作り上げていきたい。

(委員)

単にイベントとしてではなく、将来橿原市に、レガシーとして残るような内容を作っていて欲しい。

(実行副委員長)

全国からみた奈良県、そして日本女性会議が今後目指すものを明確に示したい。

(事務局)

いただいたご意見を反映した内容を企画、提案していく。

(委員)

全体会での分科会報告とはなにか

(事務局)

前日の分科会の結果等を参画団体が報告する場。

(実行委員長)

分科会 1~7 は同じ時間の開催か。また、事前申込は必要か。

(事務局)

時間枠を 2 つ設け、希望のものに最大 2 つ参加できるイメージ。事前申込制。

(委員)

6 番の認知症予防は、女性会議とどのような接点があるのか。その接点を案内に明記したほうが良いのでは。

また、学生参加の部分は、学生の発表を審査する形での開催か。

(実行副委員長)

6 番については、認知症予防へのアプローチとして性差医療という観点があり、体や漢方薬の使い方等を男女で対比させることで予防への理解を深めていただく意図。

(委員)

学生参加の部分について概要はお見込みのとおり。審査方法等の詳細は調整中。

(委員)

学生参加について、参加した学生へのフィードバック、会議に参画した意義を感じてもらえるかが重要。また、女性会議を他団体へ紹介するため、参加への具体的プロセスを教えてほしい。

(実行委員長)

学生が話すテーマは橿原市についてか、もっとグローバルなものか。

また、参加対象は市内の中高校生か。

(事務局)

「橿原市の魅力発信」が大きなテーマのため、市内在住、または市内に通う学生が、自分たちが暮らす橿原市が「日本国はじまりの地」であることを知り、その未来に向けての課題を明確にする。それを参画団体を含めた全体で再認識する場をイメージ。

(委員)

“日本”女性会議であるのに、橿原市の地域的な問題点でよいのか、もっとワイドな視点でなくてよいのか、というのが今の問題提起の論旨かと思う。

個人的には特別枠なので橿原市がテーマで問題ないと思う。可能ならば市長が審査に参加し、出た課題を施策に反映したならば、それこそがレガシーとなるのでは。また、議題等の詳細はまだ決定する必要はないかと思う。

(委員)

チラシに「日本国はじまりの地から未来へ」とあるので、橿原市の内容でいいと思う。

(実行委員長)

全大会の学生参加シンポジウムについて、アンコンシャス・バイアスがテーマだが具体的な内容は決まっているか。

(事務局)

身近なところでモヤっとするような言葉等を学生たちと話したいと考えている。

8 報告 大会ホームページについて (資料6、7、8)

(事務局)

ホームページ受注業者について、プロポーザルの結果、株式会社百代に決定。

公開期間は令和6年7月末～令和8年3月末を予定。

現在、7月末の公開を目指し協議、制作中。決定した内容は資料のとおり。

(受注業者)

多様性等をコンセプトに、大会テーマや概要が伝わりやすい、シンプルな構成を意識し制作中。ページの全体構成案については資料のとおり。

(委員)

藤原京の時代に大宝律令で「日本」という国号が初めて使われたという「日本国はじまりの地」のテーマの経緯を盛り込んでほしい。

(委員)

大会終了後、ホームページの利用期間中は報告書や今後の取り組み等を掲載してはどうか。

(委員)

構成案に氏名の誤字があったため、事前確認の徹底を。また、もう少し橿原らしさの伝わるデザインにできないか。

(事務局)

いただいたご意見を基に内容を協議、改訂する。

9 その他

(1) その他疑義

(委員)

今後、実行委員からも協賛金を呼び掛ける際に、使える資料等はあるか。

(事務局)

協賛金については、現在事務局で依頼先等を協議中。総務部会に諮ったのち、実行委員の皆様にも協力依頼をさせていただく予定。

(委員)

手話通訳等についてはどうなっているか。

(事務局)

障がい福祉課と調整中。

(2) 事務連絡

開催チラシ、シール等を配布。啓発に活用するよう依頼。

(3) 次回日程調整

調整のうえ、10月1日の午後または10月4日の午前のいずれかとする。欠席者等と調整後、正式決定。